

東書 三年下

もうどう犬の訓練

吉原 順平

○ 目標

・ 動物の記録映画などの監督をされている吉原さんが、盲導犬と出会い、その姿に感動し、その役割について紹介しようとして著された本をベースに教科書用に書かれたのが本教材である。その吉原さんの思いをとらえさせたい。

第一次（概観）指導（二時間）

〈区画〉七区画（犬の特徴・訓練開始・命令訓練・安全訓練・心構え・練習・その後）

一よむ（音読 七名）

二とく（読後感の話し合い）

○ 題目

① 犬についての経験・知識を整理する。

賢い・活発・仲よく （活発 板書）

② 盲導犬とはどんな犬の仲間か。

働く犬・目の不自由…（目―助― 板書）

③ 盲導犬になる勉強は、どのくらい続けるの。

三か月〜半年 （三〜六― 板書）

◎ ひびき

④ 目の不自由な人の何を助ける勉強か。

町を安全に歩けるような （安全 板書）

⑤ そうして、目の不自由な人の盲導犬としてど

のくらい一緒に生活をするのかな。

八年から十年

⑥ そんな盲導犬の訓練の話です。

○ 手引き

・ 盲導犬と関係が深い言葉をそれぞれ探します。その中で、（1 活発）のように漢字二字の言葉を一つ選んで書き出してください。

三よむ（指示に沿って黙読）

四かく（視写）（一）内は、他の予想

1 活発

2 訓練

3 英語（訓練・命令・言葉）

4 器具（安全・訓練）

5 仕事

6 練習（半年・生活）

7 家族（十年・一部）

五よむ（指黙読 指音読）

六とく（板書をもとにしての話し合い）

○ 事実・区分

① 似た意味の言葉を探してください。

訓練と練習

② 訓練は、何才から始めるのかな。

一才 （一才^{さい} 板書）

③ どのくらい練習。 （二か月 板書）

④ 訓練と練習はどちらが厳しいのかな。

⑤ 訓練の方が厳しい。それは、何もできないところからできるようになる勉強ですからね。練習の方は、訓練で覚えたことがもつと上手になるように何かも練習するのですからね。

⑥ 訓練は、訓練士（先生）とやりますが、練習は誰とどのようにしてやりますか。
目の不自由な人と一緒に生活して。

⑦ （生活と板書し）生活を一緒にしてお互いに慣れる練習します。訓練で難しい英語は何か。ウエイト （ウエイト 板書）

⑧ （なぜ英語でやるのかは宿題ね）ウエイトが犬に難しいのはどうしてかな。（活発に矢印）

⑨ 「待つ力」で何が強くなるのかな。

⑩ その我慢強さが何に役立つの。（仕事に矢印）

⑪ その仕事に着る制服が何なの。（ハーネス）

⑫ ハーネスを通して目の不自由な方と何が通じ合うようになるのか。（家族の下に 心 板書）

・ 区分 訓練の話はどこ。（2〜6）で三区区分、訓練士との訓練は（3〜5）で二区分。

◎ 山

⑬ 具体的な訓練が3・4・5の三つあるが、その中で一番難しいのはどれだろうか。そこを、次の時間にします。（5）を○で囲む

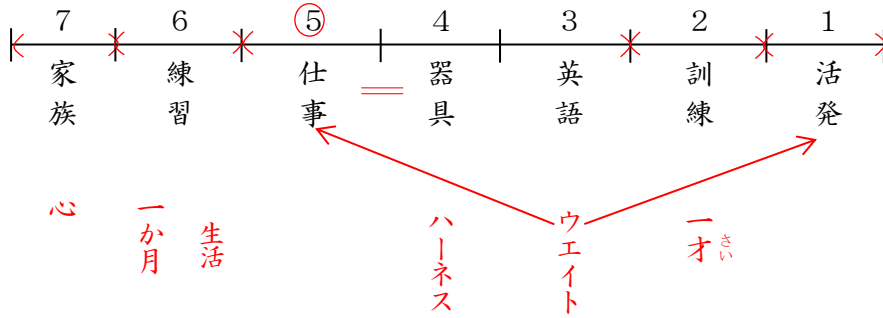
○ 余韻（盲導犬や働く犬について調べたいなあ）

七よむ（全員で板書を指音読）

〔板書事項〕

目一助一 安全
もうどう犬の訓練
三六

吉原 順平



* 字眼・利き字に近い言葉が書き出されているので、この言葉を手掛かりにして全文を思い出せる。

第二次指導第一時

一よむ (音読 七名)

二とく (本時の足場作り話し合い)

〇おやらい

- ① 具体的な訓練が三つ、何番から何番までか。
 - ② 3は、何語で訓練が始まったのか。(英)
 - ③ 4からは、何をつけての訓練か。(器)
 - ④ 5は、ハーネスをつけると盲導犬には、何が始まるのだと分かるのか。(仕)
 - ⑤ 訓練士との訓練が終わると、盲導犬を実際に使う人と何が始まるのか。(練)
 - ⑥ 2に書いた言葉は。(訓) 訓練校には何才で入学するの。
 - ⑦ そして、盲導犬として何年くらい働くのか。
 - ⑧ その八〇年の間、盲導犬は、目の不自由な方の何になるのかな。(家) 心の通う家族になつた盲導犬の話です。
- ◎承接
- ⑦ 盲導犬が目の不自由な方を助ける仕事をするのはどこですか。(町)
 - ⑧ 町の中は、犬にとって難しい場所です。犬は、もともとどんな動物だからですか。(活発)
- 〇手引き
- ・ 町では、いろんなことに出会います。そのときの盲導犬の行動を書いて勉強します。
- 三よむ (黙読)
- 四かく (視写)

しかし、どんなことがあっても、おこったり、ほえたり、あべれたりしてはいけません。また、仕事中は、人にあまえたり、じゃれたり、おいしそうなおいものをする方に行こうとしたりして

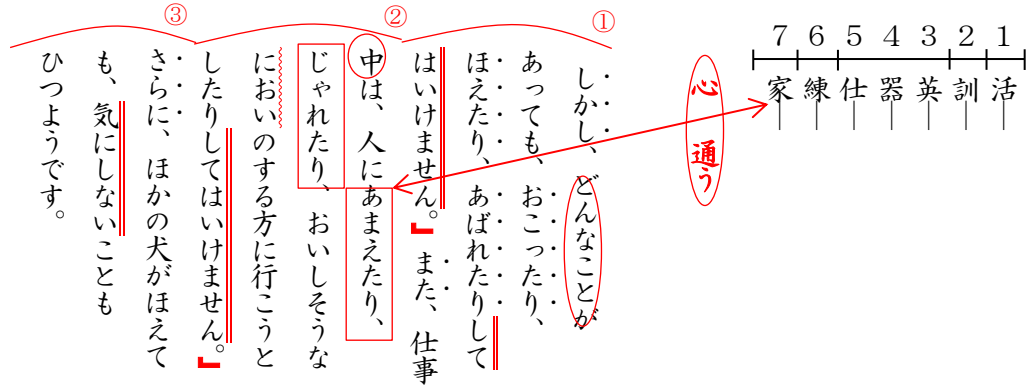
はいけません。さらに、ほかの犬がほえても、気にしないこともひつようです。

五よむ (指黙読 指音読)
六とく

〇語義・区分

- ① しかし・また・さらに、怒る・吠える・暴れる、匂い、気にしない、必要
 - ・三区分(①しかし、②また、③さらにで分ける)
- ◎心
- ② 三つとも、同じことが書いてあるが、何か。(してはいけません。気にしないに傍線)
 - ③ ハーネスを外すとしてもよいのは何番のことですか。(②)
 - ④ 目の不自由な方も、一緒になつて楽しむのは、何でしょうか。(甘える・じゃれる)
 - ⑤ 健康のことも考えて美味しそうな匂いの餌も用意し、楽しい夕食なるのでしょね。
 - ⑥ では、①のことができなかったら、目の不自由な方は、どうなりますか。(大怪我……)
 - ⑦ 盲導犬にタバコの火をつけた人がいたそうですが、盲導犬は①のことを守ったそうです。家に帰ってハーネスを外して目の不自由な方がそのことに気づいて獣医さんに手当してもらつたという話を聞きました。この盲導犬の心構えとこの人の心構えをどう思いますか。
 - ⑧ ①の中で、難しいなと思う言葉は何か。
 - ⑨ どんなことがあっても我慢することを、英語の勉強やハーネスを着けた訓練で学ぶのです。皆さんは、今、盲導犬を見たら「頑張っているね」と頭をなでたりしたいですか。(家で家族と読んで、どうするか話してね)
- 〇余韻 (盲導犬の邪魔をしないようにしたいな)
- 七よむ (指音読)

〔板書事項〕



ここまででは、二時間の案でした。私が、担任ならば、もう一時間は追加してハーネスを着けての訓練を詳しく読みたいと思います。以下、二とくと六とくとを簡単に記します。

二とくと

○ おおむい

- ・ 盲導犬の心構えを三つあげると...
- ・ どれが難しいか、家で話した人は...
- ・ この心構えができる元は、一才までに可愛がられて人を好きになるように育てるからだというです。調べてみると面白いですよ。

◎ 承接

- ・ 英語を命令言葉として学びますが、どうして英語なのだろう。これも調べると面白いよ。
 - ・ ここに出て来た五つの英語を言うよ。
 - ・ 英語の命令、特に難しい「待て」ができるようになるよ、いよいよ道路へ出ての訓練です。そこで、学ぶ大切なことを二つあげると。
- 手引き
- ・ もう一つ大事なことを学びます。命令に従わない訓練です。そこを書いて勉強します。

使っている人にとってきけんな命令には、したがわれないことも教えられます。たとえば、自動車走ってくる所で、わざと「ゴー」(進め)と命令し、命令どおりに進むと自動車とぶつかりそうになるといふ訓練をします。このような訓練をくり返して、あぶないときは、「ゴー」と言われても、前へ進まないことをおぼえるのです。(字数が多いので、児童は「たとえば」から)

六とくと

○ 語義・区分

- ・ ことも
- ・ たとえば
- ・ わざと
- ・ 命令どおり
- ・ ぶつかりそうに
- ・ このような
- ・ ...のです
- ・ 三区分 (例を示している所とその前後)

◎ 心

- ・ 命令があるまで待つ訓練も活発な犬にとっては大変だったが、今回の訓練は、犬が自分で考えなければならぬところが大変です。何を考えるのですか。(危ないかどうかを考える)
 - ・ 危険だと感じたら命令があっても動かない。これは、命令通り動くことに喜びを感じる犬にとっては、頭が混乱することなのです。ですから、訓練も工夫されています。どこで分かるか。(わざとぶつかりそうになる訓練)
 - ・ 本当に走っている自動車の前に入る訓練をして危ないことを教えるのだそうです。非常に危険です。もちろん、車の運転手の訓練士ですが、その他の場合も訓練しています。どこで分かりますか。(たとえば、このような訓練)
 - ・ この訓練の難しさが分かるのは。(くり返し おぼえるのです...覚えます)
 - ・ 訓練には、いろいろあることが分かるのは。(したがわれないことも教えられます)
 - ・ こういう訓練を繰り返すことにより我慢強さも身に着け、安全に導く力と心構えができるのです。DVDを見るとさすがが分かりやすいよ。
- 余韻 (盲導犬についてもつと調べたいな)

*盲導犬に関心を持ったところで、盲導犬や他に働く犬についても調べ、報告する活動をした。事後に、ユーチューブを見るのもよい。